

講師プロフィール

■氏名：富山眞吾（Shingo TOMIYAMA）

■略歴：1987年弘前大学理学部卒業・三菱マテリアルテクノ(株)入社／2010年和歌山大学大学院システム工学研究科博士後期課程修了／2017年北海道大学工学研究院客員教授（三菱マテリアル(株)兼務）、現在に至る

■研究テーマ：鉱山地域における水循環機構のモデル化

■趣味：飛行機模型作り、オーディオ鑑賞

■委員歴：経済産業省委託事業 令和2年度休廃止鉱山におけるグリーン・レメディエーション（元山回帰）調査研究委員会・委員、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 令和2年度地下水制御技術の調査研究ワーキンググループ委員会・委員

■論文：

- 岡山県人形峠鉱山における河川流出と水質の特徴、環境資源工学（印刷中）
- 北海道伊達鉱山周辺の河川水質に対する鉱山廃水の影響評価、環境資源工学（印刷中）
- Modeling of the groundwater flow system in excavated areas of an abandoned mine, Journal of Contaminant Hydrology (2020)
- Acid mine drainage sources and hydrogeochemistry at the Yatani mine, Yamagata, Japan: A geochemical and isotopic study, Journal of Contaminant Hydrology (2019)
- 地球化学的手法と数値解析を用いた下川鉱山坑内水の起源推定、Journal of MMIJ (2016)
- 酸素安定同位体比測定による清酒の産地特定について、日本醸造協会誌 (2015)
- Geochemical, stable isotope, and numerical modeling studies of sake and groundwater for identification of the location of sake production: A case study from Hakusan City, Japan, Geochemical Journal (2013)
- 青森県津軽平野を対象とした生育水と精米の軽元素安定同位体比の相関性、分析化学 (2011)
- 地球化学的手法と数値解析を用いた埼玉県狭山市の飲料工場で使用する地下水起源の判別、分析化学 (2011)
- 安定同位体比からみた青森県下北半島における温泉水の起源、温泉科学 (2010)
- 安定同位体分析と数値解析を用いた食品原材料としての地下水の起源判別、食品科学工学会誌 (2010)
- 宮崎県富高鉱山における地下水涵養と流出特性のモデル化、地下水学会誌 (2010)
- 地化学的手法と数値解析を用いた細倉鉱山坑内水の起源推定、Journal of MMIJ (2010)
- 安定同位体分析と数値解析を用いる富士御殿場地域における地下水起源の推定、分析化学 (2009)
- 下北半島、むつ燧岳火山地域の変質帯と変質岩の熱ルミネッセンス年代、岩石鉱物科学 (2007)